



令和2年1月8日に「学校の棚卸し」シリーズの第1回「校則」をテーマに教員と協議会委員の合同研修会が開かれました。

学校の棚卸し—みんなで話そう、考えよう、これからの教育—

向陽中学校校長 菅野 武彦

今後、社会状況や環境の変化が急激に進み、Society 5.0(ソサエティ5.0)時代を生きていく子どもたちが身に付けなければならないものも多様化してくる。こうした状況を踏まえ、これからの教育を考える手がかりとして、これまでの学校の当たり前を問い直す『学校の棚卸し』が話題に上っている。学校においても「働き方改革」とともに、これからの教育について見直しの議論をしなければならない。そこで、合同研修会をその機会ととらえ、「みんなで話そう、考えよう、これからの教育『学校の棚卸し』」をテーマとして意見交換を行うことにする。

合同研修会では、「学校の当たり前」について、教員と学校運営協議会委員がそれぞれの立場から意見の交換を行う。その際、誰もが「自分はこう思う」と自由に言える雰囲気の中で意見の交流ができるようにする。つまり、意見の交換によって、何かしらの方向性を決めるとか、結論を導くというものではないことを予め確認する。また、今回話題にする『学校生活のきまり』を皮切りに、様々な「学校の当たり前」について継続的に意見交換を行うことにする。

こうした意見交換を重ねることで、ひとつは教員と協議会委員のコミュニケーションが円滑になり今後の協力・支援関係づくりに役立てること、もうひとつは未来ある子どもたちのためによりよい教育に結びつくことを期待したい。『学校の棚卸し』に寄せる期待は大きい。



校則を考える—教員との合同研修会から—

学校運営協議会会長 鈴木 祐二

向陽中学校の「計画」を開くと、目指す生徒像として「自立的に活動できる生徒」と掲げられています。自ら判断し、行動し、責任を持つと云うことでしょう。

一方「規則」とは、外部に自らの行動の判断を委ねる道具でもあります。ですから私個人は、「規則」は(他人に大きな迷惑を掛けない為の)最低限のもので在って欲しいと考えています。

他方、教員の皆さんには、その責任感故に「規律重視」「先々問題が起こらぬよう」広めの規則運営・指導を強調する方が多いように感じました。

AIの進化等変化して行く社会の中で、今求められているのは独創性(他人と違う発想・活動)や創造性、そしてまさに「自立的」で在ることです。

ただ従順に規則や周囲に合わせる「同調性」とは異なり、「協調性」はそうした多様な意見のぶつかり合いを前提としたものです。

時代の移り変わりの中で、どの辺りを個々の校則の常識的なものと判断するのか。こうした会を一回限りのものにせず、生徒や保護者の皆さんも含めて議論して行くことが有意義だと考えています。



教員との合同研修会 <参加者の発言(一部抜粋)>

【教員】

- ・「きまり」が無いと若手の先生の指導に混乱が生じる。
- ・根拠が言えないものはブラック校則、と云う言葉が新聞に出ていたが、教員としては根拠を個別に判断できない。
- ・ルール設定する際に「何で？」と思うことは大切。
- ・社会背景として多様化が進む中、社会生活上のルールも変化して良いのでは。
- ・スカート丈が短い生徒が居た。本人の安全上も規制が必要。
- ・登下校でケイタイ・スマホ携帯が必要とは思えない。

【協議会委員】

- ・「きまり」はあくまで生徒の安全の為に在るべき。それ以外は出来るだけ少ない方が。
- ・合理性の判断も無く「ルールだから守るのは当然」では困る。今そのルールが不可欠か先入観なく見直すのが、校長先生の言う棚卸しでは。
- ・服装について注意喚起は必要だが、基本的には家庭の問題である旨を周知すべきではないか。
- ・秋の合唱コンクールその他外出時に安全の為にスマホを持つことはノーではなく、使うルールを作って可とすれば良いのでは。

学校運営協議会 活動報告 (令和元年7月～令和2年2月)

【7月18日(木) 第4回学校運営協議会】

- ・1学期の地域自主学习支援について報告あり、「Cafe勉」は約20名、「向陽スタディー」は、約80名が参加。「社会を明るくする運動」(7月4日)には67名がボランティア希望(ただし雨で中止)

【8月28日(水) 第1回合同研修会 第5回学校運営協議会】

- ・第1回合同研修会を開催。テーマ「杉並区特定課題調査の結果分析の報告」
- ・部活に来なくなった生徒がいる場合に、担任・顧問に加え校長も理由を把握できる体制づくりを。

【9月24日(木) 第6回学校運営協議会】

- ・2019年度「生徒および保護者アンケートのポイント」を承認。10月3日のPTA運営委員会後に保護者向け説明会を行う。

【10月24日(木) 第7回学校運営協議会】

- ・生徒・保護者アンケートで多くの指摘があった「プールの更衣室の改善」「学校のセキュリティの見直し」について、教育委員会に要望書提出を決定。

【11月16日(土) CS勉強会～桃井第四小学校 学校運営協議会をお招きして～】

- ・桃井第四小学校より、西山学校運営協議会会長、谷原委員をお招きしCS勉強会を行った(PTAほか23名参加)。「ももし祭り」「桃四CSカフェ」、卒業生ボランティアが母校を支援する「サーモン計画」など、ユニークな取り組みについて伺った。

【11月28日(木) 第8回学校運営協議会】

【12月19日(木) 第9回学校運営協議会】

【1月8日(水) 第10回学校運営協議会 第2回合同研修会】

- ・第2回合同研修会を開催。「校則」に関しグループで意見交換を行った(1P・上記を参照)

【2月28日(金) 第11回学校運営協議会】

- ・新型コロナ感染拡大防止のため3月2日から25日まで臨時休校との報告があった。

令和元年度 生徒ならびに保護者アンケート調査結果

9月中旬、第15回目となる「生徒並びに保護者アンケート調査結果のポイント」を全校配布いたしました。またそれに併せ10月3日(金)に、保護者の皆様へ「アンケート調査結果報告会」を行いました。

【主な意見】

●生徒アンケートより「プール更衣室が暗い、汚い」

⇒学校運営協議会メンバーが現地に赴き視察しました。男子・女子それぞれの更衣室ともに狭く、窓も小さいことや換気設備等もないこと、また床に傾斜がないため、水が溜まったままになり湿気がこもる要因になっていることが判りました。このため、教育委員会に以下の要望書①を提出しました。

※その後、教育委員会の学校整備課が視察に訪れ、今年夏のプール開き前に排水設備の改修工事を行う予定です。

●保護者アンケートより「小学校では登下校時以外門は閉まっており、来校した際には事務室から開錠してもらっている形をとっているが、中学校の場合はそうではない。もっとセキュリティの強化をすべきではないか」

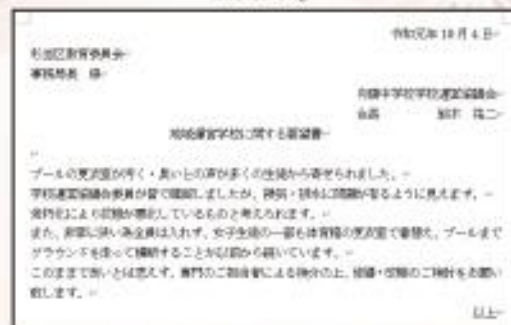
⇒この件についても教育委員会に要望書②を提出しました。



要望書①



要望書②



●保護者アンケートより「部活動で指導に不満がある場合、生徒が誰に相談したらいいのかわからず悩むケースがあった」

⇒(学校)担任には相談しにくい場合には、スクールカウンセラーや養護教諭などの先生にも相談することができます。

※毎週火曜日に、臨床心理士の丹野満佐子さんがスクールカウンセラーとして相談室に来校しています。

●保護者アンケートより「生徒が記名式のいじめアンケートにいじめが疑われる件を書いたところ、先生から全員の前で『きちんと書いてくれてありがとう』と言われたという。しかし逆に正直に書いたことが他の生徒に知られてしまうのでやめていただきたい」

⇒(学校)生徒アンケートの内容に関しても、その取扱いについて教員の意識徹底を図ります。



見学スペースの下にある更衣室には、小さな窓があるのみ(上)



緑色のフェンスの中に男女別の更衣室がある(右)

地域と学校

■土曜授業「職場体験を振り返る」

7月13日(土)、土曜公開授業が行われました。この日2年生の2、3時限目には、職場体験の振り返り授業が行われ、地域協力者として学校運営協議会委員の3名が各クラスのグループに入り、それぞれの職場体験とその反省、体験により得たものなどについて語り合いました。



■声楽家による向陽祭コーラス指導

10月17日(木)、向陽祭合唱コンクールが「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて行われました。昨年に引き続き、地域在住の声楽家の方々に3年生の歌唱指導をしていただきました。来年度は全学年に広げて指導をしていただく予定です。昨年もご指導いただいた永井美奈子さん、小貫美樹さん、十亀章子さん、そして永井崇多宏さん、小貫岩夫さんにご指導をお願いいたしました。



■「バレーボール わくわくレッスン」

～プロの指導者によるバレーボール体験・練習

12月22日(日)、向陽中学校体育館にて、NPO法人すぎなみ子どもサポート主催による「バレーボール わくわくレッスン」が開催されました。当日はバレーボール部の生徒だけでなく、近隣の小学生も2名参加。講師は、プロの指導者、高橋寛記さん、松浦麻琴さんのお二人。プロによる合理的な練習方法は大いに参考になるものであり、普段とは一味違う活気に満ちた練習となりました。



(左)高橋寛記さん
デンマークHolteIF、つくばユナイテッド
SunGATA、FC東京などに在籍
(右)松浦麻琴さん
日立、NECレッドロケッツ、元全日本代表

お知らせ「吹奏楽 わくわくレッスン」

3月に3回の開催が予定されていた向陽中学校主催「吹奏楽わくわくレッスン」は、残念ながら新型コロナウイルス感染症予防対応のため中止となってしまいました。このプロジェクトは、杉並区を本拠地とする日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが中学生を指導するものです。

次年度はNPO法人すぎなみ子どもサポート主催で8月に開催される予定です。